

# が ん ば

島三小育友会報  
発 行 部  
広 報 部

[第56号]



三小プールで泳ぐ カップ達

遊ぶんだ 走るんだ

汗にまみれて 元気な子

て、色んな形での催し物が計画されております。長崎県でも「他人(ひと)の子供をもしかろう」というキャンペーンが繰り広げられております。地域ぐるみで子供さんの健全育成を計ろうという趣旨にもとづくものです。テレビ等では世界の未就学児童が驚くほどの数である事が報道されておりますが、島原市では百%就学であります。子供さんの幸を考えてのプレゼントには色んな形の事柄が考えられます。公園が少ない。安心して遊ばせる場所がない。自然と触れあう機会が少ない。テレビばかりで見ている。色んな事柄が改善の対象になり得ます。また、この頃の新聞記事等でも子供さん達の暗いニュースばかりが目につきます。国際児童年にちなむわけではありませんが、私達、親は子供さんの幸を考える場合、物質的



## 親は心のプレゼントを

育友会長 前山 四郎

今年なもの、金銭的なものを考えがちではないでしょうか。私達は子供さんにかけてえのないう暖かい心のプレゼントを考えては如何でしょうか。親自身多忙な世の中で生活をして居るのですが、子供さんの心情を育て、強く、くじけな、誘惑に負けない子供さんに育てるための時間をつくりたいものだと思います。また、小学校入学から数字の管理下に置かれます。世の中も数字を中心に動いているような感じがなきにしもあらず、いやまつたくそのとおりかもしれませんが、数字の中にかくされている事柄、点数に表れない能力、努力点をも、ゆつくり話し合いながら、子供さんの近い将来・遠い将来の幸わせな姿を見まもって、心豊かに育てていきたいと思えます。今日の子供さんは昨日の子供さんではなく明日の子供さんは今日の子供さんではありません、日々新たではないでしょう。



# 子どもは民族の宝

## 世界の宝

島原市長

宮崎 忠 夫

三小育友会の皆さんは、日ごろから会員相互の親睦と教養を深めながら、物心両面に

# 国際児童年に思う

ことを願ひ、皆さんとともに教育施設の整備充実、子供達をとりまく生活環境の改善のため更に努力していきたいと思ひます。

# 国際児童年に

## 積極的参加を

島原市教育長

平井 峻

「遊ぶんだ、走るんだ、泥にまみれて元気な子」この標語こそ、国際児童年にちなんだものであり、第三小学校の活気にあふれたすなおな子どもらしい子どもの成長を願ったものではないと思ひます。さて、国際児童年のことについては、皆さんも各方面からのいろいろな情報で高い意識をもっておられることでしようが、紙面の都合で一点だけお互いが再認識したいことを述べさせていただきます。それは、国際児童年の前文や目的で特に強調されていることで、「世界中の児童、特に児童対策が遅れている国々の児童が必要としている事柄について認識を高める」ということです。このことから現在の日本の子どもたちが恵まれているかどうかは別として、全世界の大人たちが、発展途上国の児童の幸福を願うことを十分意識し、関心をもち、とに大きな意義があると思ひます。そして、国際児童年の計画に積極的に参加し、三小の子どもも含めて、標語どおり、健全な子どもたちを育ててください。

# 国際児童年を

## 迎えて

学校長

江島 九 香

○才から十五才までの国際的にいう児童が等しく受けるべき基本的権利を定めた「児童の権利宣言」が国連総会で採択されてから二十周年になる今年で、その精神を問ひ直す意味で、「国際児童年」と国連は宣言したのであります。これを受けて世界各国は児童の福祉向上について関心を高めるような施策や活動を行うよう努力しているのです。わが長崎県でも、「青少年を非行から守る県民大会」と名うって、県下の子どもたちのたくましく豊かな成長を願うとともに、広く県民に青少年の健全な育成に対する理解と協力を求めるために、いろいろな行事を実施しております。私どもの三小育友会も児童の健全育成の願望を果たすためにいろいろの計画を立て実施しているところであります。今日の社会環境の中で、望ましい児童への育成は必ずしも安易なことではありません。親同志で、町ぐるみで、PとTと協力して大切な子どもを守り育てる児童年でありたいと思ひます。

# 島三小ちびっ子憲法

わたくしたち三小のちびっ子は楽しい学校せいかつで静かな学校をつくるため憲法を作りそれをよく守りみんな仲よく礼儀正しいおちついた強い子になります。

## 第一章 校 舎

- 一 条 ろうかは走りません。
- 二 条 右側をさつさと歩きます。
- 三 条 教室やろうかではあばれません。
- 四 条 上ばき、下ばきのくべつをします。
- 五 条 階段やろうかでは遊びません。
- 六 条 はじまりのチャイムがなったらすぐ席につきます。
- 七 条 水道のジャロはきちんとしめます。
- 八 条 教室や廊下ではぼうしをかぶりません。

## 第二章 校 庭

- 九 条 天気の良い日は運動場で元気よく遊びます。
- 十 条 雨の日は運動場のまん中を通りません。
- 十一 条 昼休み 運動場でソフトボール・サッカーをしません。
- 十二 条 運動場では、自転車に乗りません。
- 十三 条 あぶない所(墓の所・校舎のまわり)では遊びません。
- 十四 条 学校園・岩石園のところでは遊びません。

## 第三章 体 育 館

- 十五 条 体育館シューズをかならずはきます。
- 十六 条 体育館には かつてにはいりません。
- 十七 条 用のないときは ステージにあがりません。
- 十八 条 体育館の中の用具を かつてに さわりません。

## 第四章 そ の 他

- 十九 条 名札をかならず つけます。
- 二十 条 交通ルールを守り 集団登校をします。
- 二十一 条 放送は静かに聞きます。
- 二十二 条 あいさつは 気持よく 進んでします。
- 二十三 条 「三小三小ない運動」(ちらさない こわさない よごさない)を守ります。
- 二十四 条 かつてに 校外には出ません。
- 二十五 条 学校にいらぬものは 持ってきません。

おとうさん おかあさん一緒に遊んで

生活実態調査

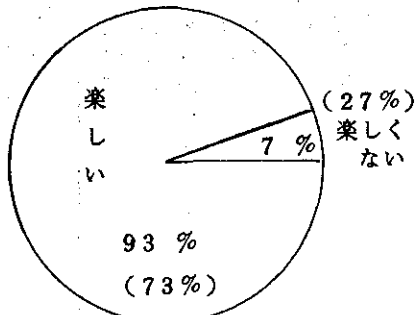
(5・6年調べ)

国際児童に当り「こどもの生活実態調査」を、実施して見ました。この調査項目は、先に研修に参りました長崎新興善小学校(五年生)のをそのまゝ真似てみました。三小の子ども達と比べてみますと教値的な面で大きな差を感じるものもありますが、「家の人への要望」などは、さほど変化はないようです。友達の間では、やはり島原より少し都会的な長崎だけに、社会環境の違いなども相まって、大きな違いが見られます。この結果をご覧になつて、いろいろとお子さん話し合われるのも此の年にふさわしいのではないのでしょうか。

(注)

○(一)内の数値は新興善小学校のもので、みんなに好かれなから死にたい―これは長崎の中にあつたもの。○調査対象は三小の場合五年生(三学級)六年生(一学級)でした。

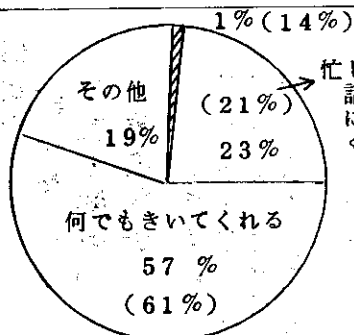
◆家庭生活は楽しいですか



☆楽しくない理由

- ・勉強、勉強といわれるから
- ・兄弟、姉妹間の差別をされるから
- ・話し相手になつてくれる人がいないから
- ・日曜日しか塾の休みの日がないから
- ・その他

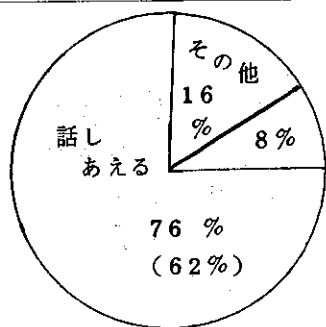
◆父母とは何でも話し合えますか



◆父母をどう思いますか

- ・て手ていぎ相つなすしなれ
- ・忙し話にく

話しあえない(36%)



☆その他

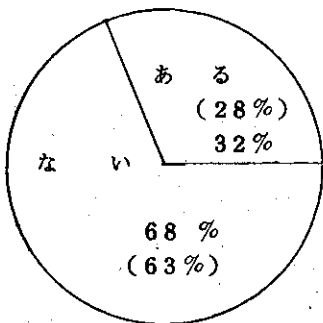
- ・話しあえる時も話しあえない時もある

こわくて何でも本当のことは言えない

☆その他

- ・何でもきいてくれない
- ・忙しくて何でも話し相手になつてくれない
- ・こわいときもやさしい時もある
- ・その他

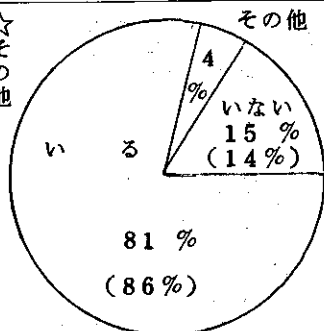
◆学校で困ったことやいやなことがありますか



☆いやなこと

- ・男の子がいやがらせをする
- ・水洗トイレでないこと
- ・あだなや悪口をいう
- ・先生のこと
- ・給食の設備のこと

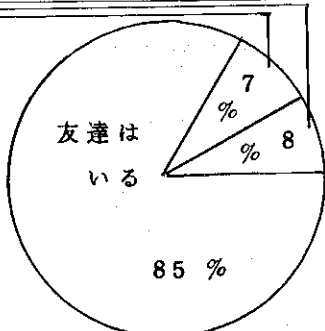
◆なんでも相談できる友達がいいますか



☆その他

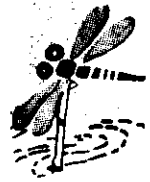
- ・相談できるときもできないときもある

◆友達ほしいですか



- ↓べつにほしくない (25%)
- ↓いないのでほしい (75%)

# 家の人に対する要望



## してほしいこと

- 休日にとまどき家族で出かけたい
- 小使いを値上げして
- テレビをもっと見せて
- 塾行きを少し減して
- いっしょに遊んでほしい
- 勉強をみてほしい
- マンガ本を買わしてほしい
- その他沢山「してほしい」ことづくめでした

## してほしくないこと

- 兄弟姉妹の差別をしないで
- 勉強のことばかり言わないで
- 机の上や自分の部屋をさわらないで
- おこつたら物をなげないで
- あまりお酒をのまないで
- 勉強中のぞきに來ないで
- あまりおこらないでほしい
- 小言ばかり言わないで
- その他沢山ありません

## 親のねがいは皆おなじ

### 「元気で明るい素直な子」

子どもの「生活実態調査」と並行して、五・六年生の父母を無差別に五〇名選び出し左記項目について、おたずねしました。数字はパーセント

- 一、本年が「国際児童年」であることを知っているか。
  - 知っている 94
  - 知らない 6
- 二、あなたは、自分のお子さんとお話す時間を持っていますか。
  - 持っている 98
  - 持っていない 2
- 三、あなたのお子さんは学校での話をしたり、困ったことなど相談しますか。
  - する 82
  - しない 8
  - その他 10
- ※その他の回答者の中には、父親が多く「母親に相談しているよう」と云うのがある。
- 四、あなたは自分のお子さんの友人を知っていますか。
  - 知っている 94
  - 知らない 6

- 知らない 60
- その他 6
- ※その他の答には「だいたい知ってるつもり」
- 五、あなたは、ご自分のお子さんから信頼されていると思えますか。
  - 信頼されていると思う 86
  - 信頼されていないと思う 4
  - その他 8
- ※その他のその時の問題によって信頼されていたりされていなかったりする。
- ・信頼されていると自分で思っているだけかも知れない
- 六、子供に対して何か希望があれば……
  - 明るく、正しく、元気に毎日を過してほしい。
  - 自分本位の者が多いようです。年令的な場合があります。もう少し思いやりのある子供達になってほしい。

- その時その時の結果が得られなくても、五年先、十年先で結果が得られることもある。恥をかくことを、恐れないこと。曲ったことはしない。
- 我がまますぎる子が多い。
- 下校後友達とあまり遊ばない。もっと外で遊んでほしい。

- 座敷でも、体育館すわりをする。つまり行儀が悪い。
- 子供達同志の言葉使いが荒く悪い。互いに注意し合っでよくしてほしい。
- もう少し素直で、人の気持ちになって考えてほしい。
- 大人になって、あの頃は良かったと思ひ出せるような遊びをしてほしい。その為にも一生懸命に生きてほしい。
- 何事にもくじけず頑張り、また、すなおでやさしい心を持ちつづけてほしい。
- 独立心・積極性の芽生えがほしい。
- フアイトを持ち、失敗などにもクヨクヨしない心を持つ。
- 物事の判断を正しく(例えば善悪など)出来る人間に育ってほしい。
- 家族を大事にする心を持つてほしい。
- いかがでしたか。子供に対してお父さん、お母さん方の関心は大きいようですし、親が子に望むものは、どちらのご家庭も同じようですね。子供たちへの生活実態調査とこのアンケートとを見比べながら、親と子、家族で話し合う材料にでもなれば、国際的な行事の国際児童年の行事に大きく参加出来たことになりはしないでしょうか。

私が島原市立第三小学校の校医を勤めるようになりましてのは昭和十年十月でありました。小国校長先生が耳鼻科専門医を校医として委嘱されたことは、当時としては画期的なことでした。

私は先づ児童の耳掃除を始めました。その頃は今と異って衛生思想が低く、殆んど放任状態であったと思います。耳垢栓塞が殆んど九〇%もあり、約一ヶ月を要して、全生徒の耳垢、異物（蠅、ウジ虫）等をクラス別に標本瓶に集めました。が、あまり見事（？）なので長い間医務室に陳列され、学校見学の先生方の参考となりました。

耳垢の外に急性、慢性中耳炎も可成り多く、聴力減退のため学力低下する児童も少なくありません。鼻疾患では急性、慢性の蓄膿症、肥厚性鼻炎を併発しており、鼻漏、鼻閉を起こしております。鼻をかむ紙もなく、いつも膿汁を上唇まで垂らして所謂二本棒を呈しております。

扁桃腺肥大やアデノイドは殆んど半数以上の児童に見られ、アデノイドの子供は、半ば口を開いて口呼吸し、耳管

狭窄を起こして聴力低下し、ボンヤリした顔をして学業成績も低下しております。

このように大部分の児童が耳鼻科疾患に罹っており、健康な人は僅かに一〇%に過ぎません。現今の学童の状態からみますと、到底信じられない程劣悪な状態だったと申せましょう。このような状況は児童の体位や学業にも何らかの影響を及ぼすものと考え、当時の限部教頭先生と共同に



校医

### 校医の思い出

樋口正規



て、「学童の耳鼻咽喉科疾患と体位との関係に就いて」及び「学童の耳鼻咽喉科疾患と学業成績との関係に就いて」の主題のもとに統計的観察を行い、「学校衛生」誌上に発表し、表彰を受けた事がありました。

その後、校医陣も充実し、検査用具の整備、医務室の拡充など大いに見るべきものがあり、学校衛生の模範校として各地より参観に来られるよ

うになりました。

戦前は国策として産めよ殖せよの時代でありますから、児童数は年々増加し、千七、八百名にも上りました。そして定期検査は四月中に行われねばならず、非常に忙がしかつたことを思い出します。三小が専門医を委嘱したことに対して、他の小中学校よりも検査の申込みがありましたので、今は亡き斎藤先生と二人で分担し、誠にキリキリ舞いをし

終末を迎えました。国をあげて窮乏のどん底に落ちました。このような貧困の時代に最も厳しい影響を受けるのは児童でありました。空襲の被害の少なかつた島原でも、市民は衣食の面では厳しい耐乏生活に苦しまねばなりませんでした。従って環境は汚染され衛生状態が悪化し、蚊、しらみ、のみ等の発生で、諸々の伝染病が流行するようになりました。学校では女生徒の髪に、しらみが蔓延したので、DDTの白い粉を頭から振りかけて新聞紙の上に払い落して焼き捨てた事もありました。また、ジフテリアの流行もありましたので、米軍の指導により、定期的に予防注射を行う事となり、今日では全く姿を消してしまつて居ります。

日本が敗戦の焦土から立ち上つて、文化国家、民主主義の樹立に努力し、次第に経済的發展を遂げ、今日では世界的米國につぐ経済大国となつており、民生は裕福となり医療制度の発展、福祉の発達、社会保険制度の充実等により、環境は改善され、学童の体位は向上し、諸々の疾患は激減しました。従つて学校衛生の

方向も栄養過多（肥満児）心疾患の問題等々新しい分野に向けられております。

今日、殆んど何の苦勞もなくのびのびと大きく育っている児童を見ますと、現在の児童は幸せだなあ……と往時を忍び、つくづくと今昔の感に堪えません。

私は過去四十三年間の校医生活を回顧し、万感交々胸に迫る思いが致します。過ぎてみると四十三年という歳月も一睡の夢であり、当時、可愛らしい瞳を輝かしていた少女達が、今日では島原市の代表的実業家として活躍しておられるのを見て、自分も愈々老境に入つたなあ……と感嘆しております。三小育友会のご依頼により思い出づるまま拙文を書きました。



先生は、先般春の叙勲で勲五等瑞宝章をお受けになりました。これを記念して、我が第三小学校並びに育友会に対して、金一封のご寄付がありましたことを会員の皆様へお知らせ致します。

「子どもの心の風景と行動をもっと知ろう」

巡回映画

懇談会

街頭補導など

生活部

親にとっては、憂うつな、子ども達にとっては、一年中で一番楽しい夏休みがやって参りました。この期間は家庭での親子のふれ合いのもっとも大事な時かと思えます。

最近、青少年非行に関する取組みについての「伸びよ、長崎の子ら」という冊子が発刊されたり、七月六日から「他人(ひと)の子もしかる運動」を県民総ぐるみの運動として展開されております。

私たちがいま一度ふり返ってみるとき、自分の子どもは自分が責任をもって、しつめていくことを自覚するならばという思いがいたします。

しかし、ほんとに、子どもたちが何を考え、またどんな行動(遊び)をしているか、確信している親は少ないのではないかと思います。

生活部では、三小の子どもたちが、健康で規則正しい生活をするを願って、次のような計画をたて、実施して行きたいと思っております。

で、どうぞ、みなさんのご協力をお願いいたします。

●巡回映画会と懇談会 (教養部と共催)

八月二十日頃より、希望町内単位に、映画会(一本、二十五分程度)と、その後、お父さん、お母さん方との懇談会を実施いたします。

出席は、各町内の父母、学校からは、学校長、教頭、町担当の先生、部担当の先生の内数名、育友会からは、会長、副会長、部長、副部長の内数名の方々をお願いし、膝を交えて、子どもたちのことについて懇談会を実施したいと思います。

●街頭巡回指導

夜間外出、ゲームセンター、大型店等への不必要な出入り等についての巡回指導を計画しております。

●町内毎生活努力目標の設定

生活面で、特に強く町内で指導に取組んでもらうよう、呼びかけをしましたところ、現在までに次の町内で目標を決めて取組んでいただきました。一人でも多くの子どもたちが自覚し、実践してくれることを念願しております。

- ◆新山西川 〇あいさつをしよう
- ◆新山東川 〇あいさつをしよう
- ◆八幡町 〇朝夕のあいさつをしよう
- ◆栄町 〇正しい言葉使いの励行
- ◆姪子町 〇あいさつをしよう
- ◆桃山 〇人に迷惑をかけないようにしよう
- ◆壺南 〇物を大切にしよう
- ◆元舟津 〇人に親切にしよう
- ◆白土舟津 〇時間を守ろう (登行時)
- ◆南風泊 〇あいさつをしよう
- ◆南下川尻 〇あいさつをしよう
- ◆緑町 〇はつきりした返事とあいさつの励行

※生活標語入選作品決まる!!

ひとり、ひとり、だれもが生活面での活動に参加するとうれい趣旨で、六月に募集をしましたところ、約七三〇名、千四百余点の多くの作品が寄せられました。その中から審査の結果、次の作品が入選と

決まりました。七月より各町内に五点ずつ、年四回に分けて掲示いたしますので、地域で家庭で大いに活用くださるよう、お願いします。

☆入選作品

- 〇へんじは「はい」と大きな声で はつきりと
- 〇三年 中川 多恵
- 〇実行しよう あいさつ親切 おてつだい
- 〇五年 田中 和子
- 〇あいさつは いつでもどこでも 元気よく
- 〇五年 満尾 友吏子
- 〇「はい」「いいえ」はつきりいえる子 元気な子
- 〇四年 馬場 博之
- 〇おすれ物 あわてて帰るじこのもと
- 〇五年 上田 照子
- 〇よごすまい ぼくらの学校 ぼくらの町
- 〇五年 森 泰夫
- 〇すてるとごみより すてないくふう よい子ども
- 〇五年 浦田 めぐみ
- 〇みんなの手 むすんでつもう 非行の芽
- 〇六年 永門 麻味
- 〇すき きらい なくしてなんでも食べる 元気な子
- 〇二年 柴田 康子
- 〇こんきよく 手あらいうがい はみがきも

- 〇三年 下田 朋美
- 〇遊ぶんだ 走るんだ 汗にまみれて 元気な子
- 〇四年 金子 倫子
- 〇よいことは すすんでしよう 三小せいと
- 〇一年 三浦 栄子
- 〇げんきなよいこ じかんと やくそく ままろうね
- 〇一年 吉永 真紀子
- 〇忘れもの するもしないも 心がけ
- 〇二年 富崎 裕保
- 〇遊びすぎ/帰る時刻は 守ろうね
- 〇六年 瀬戸 覚子
- 〇公共物 正しくつかおう 大切に
- 〇六年 勝田 政子
- 〇上級生 すすんで しめそう よいお手本
- 〇五年 鬼塚 美幸
- 〇「ごまかし」「かくしごと」 悪の道
- 〇五年 橋本 秀美
- 〇行く先は 正しくつげよう 母さんに
- 〇三年 平野 優子
- 〇悪い子には ゆうきをもつて はい/注意
- 〇四年 小林 猛
- 〇自転車の 手ばなし二人のりはやめよう じこのもと
- 〇三年 みうら せつこ

### 授業参観・学級部会 盛会裡に終る!!

学 級 部

六月二十七日低学年・二十八日中学年・三十日高学年と三日間にわたって実施された授業参観、学級部会は大両の中にもかかわらず、かつてない好評で盛会裡に終了できました。

今回は事前に学級代議員会を開き、学年別の協議題を設定し、一年生が父親参観で児童の身近な生活問題を中心に話し合いがなされました。平日の父親参観はやはり無理で、各学級ともまばらにしか父親の出席はありませんでした。

二・三・四年では「こづかい」の実態や与え方等について話し合いがなされました。五年生は算数の授業参観を、考え方や指導内容等の討議やテレビ視聴の問題が話し合われ、六年生では、はじめての親子懇談会がもたれ、有意義に終了できました。

今回から保護者・児童氏名を書いた名札をどの学級でも作り、机上においての話し合いがなされました。

今後とも部会のあり方をいろいろな角度から研究し会員の

親睦と児童の健全育成を目標にして、運営されるようお願いいたします。  
今回の出席者は次の通りでした。

学年	出席者数	出席率(%)
1 年 年	128	82.6
2 年 年	115	64.2
3 年 年	99	58.2
4 年 年	75	48.2
5 年 年	86	47.8
6 年 年	66	39.5
計	569	55.8

### 二十四年振りの 教室

一年 P 酒井 智 好

小学校一年生の子どもが学校から帰るなり「明日学校にお父さん来てね」と大きなはずんだ声でいつて来ました。明日は長男の父親参観日なので担任の先生が念を入れたのでしよう。「ああ行くよ」と子どもに約束してその後姿を見ながら、おれもお父さんなんだなあ……。  
翌日二十四年ぶりに古くなった教室に入ると急に小さかつた感じがこみあげてきました。

学校が新築されていたらこんなにすかしたかきさもなかつたらうに。平日のためかお父さんの顔は少しです。授業を見ていると大きな声で質問に答えている子ども。ほかのことをしている子ども。机にひじをつけている子ども。隣をついている子ども等。それぞれの子どもをやさしく、わかりやすく指導されている先生の姿を拝見して、先生が大変な努力と忍耐がのびのびと初めて知りました。私が先生だったら大きな声でどなつてやるのにと想像しながら、丈夫で元気な子どもに育つてくれることを願う。



この子ども達が大きくなつた時に「父親参観日」のことを思い出すでしょう。

### 第二回 学級対抗親睦バレー 大会を終えて

学級部長 古井 久 輝

学級部会の出席の向上を目的に、今年も秋に予定していた、バレー大会を七月八日に変更し、実施致しました。昨年同様、選手集めに御苦労があったようでした。会場は三小体育館だけとし、各学年の試合時間も一応計算し、会員の皆様に少しでも、負担を軽くして頂く為に、色々工夫したつもりです。

体育館いっぱい多くの方々が集り先生方を始め、お父さん、お母さんが交代で出場され子供達の応援も一点一点手をたたき、喜び笑い声がどよよとした試合内容が伺えました。又試合の合間を見て弁当の時間や試合が終わってからも体育館や教室で輪になり、おにぎりを口にしながらのお喋りも弾んでいました。選手として活躍して下さったお父さんお母さん一生懸命応援して下さいました。このチームの和を大きく願います。増々よろしくお願い致します。

### 「が ん ば」を 他校の広報紙と 交換

上五島青方小学校と申しまして、おまわりご存知の方はなにかも知れません。青方小学校友会が発行する広報紙「いなほ」は、育友会報として素晴らしいものです。大臣表彰やいろんな賞を授賞しているこの学校の広報紙は年三回発行で、一回の発行紙面二十頁をビッシリとつめつくす記事は部員の努力のあとがほとぼしるばかりです。この学校と交換を始めて早くも三年になります。私どもにはよきお手本にさせていたただいています。今後とも青小との交換を続けて行き「が ん ば」をよりよくするためのエキスとして行くつもりです。

市内小・中学校九校との育友会報の交換も昨年度末（54年3月）より行っており、これは全体的なものです。他校の様子や育友会活動などについて目を通してみたいと思われ方がありましたら、何時でも広報部担当本田兼光先生の方へお申し出てください。

# 交通雑感

島原警察署

木塚 雅文

過日、小学校でお母さん方に話をする機会を得ました。三〇分という時間的制約もあって、いきおい内容は交通事故防止対策の一つである「心の対策」を中心とした抽象的な話題となってしまうたようです。私の一方的な早口の話が終って十分程度の質問の時間がもたれ、若い女性の方から遠慮がちに御発言をいただきました。要約しますと、

- 自転車も当然交通ルールを厳格に守るべきである。
- 自転車は、玩具程度の安易さで買ひ与えられている。
- 親自身も、交通ルールにあまりにも無関心である。
- 対策は、どうするのか

といった切実な内容でした。職務柄、地域の交通の流れや、交通マナーには強い関心を持ってはいますが、島原では自転車の通行に著しい特徴点を見出すことができます。

- 交差点の右小回りが圧倒的
- 踏切、一時停止場所でも、ほとんど停止しない。
- 無合図、無灯火、無反射材

○右側又は道路いっばい通行  
 ◎信号無視と飛び出し  
 など正常な交通を混乱させるものばかり、自転車愛用者は交通マナーを忘れていない?といえなくもないようです。これまでの私は、講習会等の場において「交通ルールを知っているだけでは駄目で、守り実行しなければ意味がない」と訴え続けてきました。

ところが、当地ではそのような私の訴えがあまり効果を生んでいないのではないかと思えます。というのも、ここでは「守り、実行する」以前の問題として、交通ルールそのものに全く無関心な方が多い現実を目前に見たからです。横断歩道が近くにあるのにすぐそばではねられる。信号機が完備されている交差点で衝突

○一時停止を忘れた自転車が一時的に衝突

といった交通事故の内容が、よくそれを示しています。横断歩道を、一時停止を、信号機をと安全施設や規制の要望が地域からある中で、交通ルールには全く無関心な方との対話はどうすればよいのかと腐心する今日この頃です。

# 反省会はぜひしてほしい

教養部



去る六月十一日教養部による研修旅行が行われました。学校側から教頭先生をはじめ梅林先生(教養担当)、小峰先生(育友会事務局)―育友会側から会長をはじめ各学級、町内代議員の計四十六名は、長崎でも中心地に位し先進校の一つと言われる新興善小学校(児童数四七〇名)を一時間半にわたって、皆熱心に研修して参りました。参加された方々へ後日アンケートをお願い致しましたところ三十一名の方がご協力下さいましたので、ここに結果を要約してご報告し来年度以降の研修旅行の参考になれば幸いです。

- 参加したことはよかったです。の答が三十一名の100%
- 質疑応答の形式は今回のような方法(両校の意見交換)でよいとの答が77%の他に、もっと時間がほしかった22%と言う意見もありました。
- 見学校について、やはり児童数が三小とあまり変わらないような学校の希望が殆んどでした。
- 時間の配分については、学校見学とショッピングが半々でよいが殆んどです。

- 見学場所については長崎(県外)と言う数字が出ております。その他もいろいろ反省会を帰りのバスの中でしてほしいとの意見が(4)回ありました。
- 反省会は右のように「してほしい」との意見が圧倒的に多いようでした。その他意見として沢山出されてお見舞いします。
- 短時間で帰宅出来る学校
- 帰校後当日のようすを行けなかった人々の為に報告してほしい。
- PTAの肩書を背負わないなどやかな有意義な一日だった。参加してよかった。
- 学校視察と共に子どもクラブなどで見学できるような所を一つでも、コースに含めていただくと、町内行事での見学にも参考になり役立つと思う。
- 年度はじめに計画されて大変よかったです。
- 運営面や施設面でも、特色ある育友会の運営、又は学校の施設を見るのもよいと思う。
- 来年度も有意義で楽しい素晴らしい研修旅行が出来ますように。

# 編集後記

・一世紀に一度の祭典、世界的催しである国際児童年に、三小育友会広報部としても何等かのたちで参加しよう。今回は取り組んでみました。市長、教育長さん方をはじめ沢山の方々にご協力いただき部員も出来るだけ沢山のアンケートや記事集めをしてみました。三小独自のスローガンを一つ持ちたいと言う考えで、生活部のご協力によりトップに出ている標語をいただきました。四年生金子倫子さんの素晴らしい標語のように、三小の子ども達が皆明るく元気に育ってほしいと思います。次に、永い間三小校医としてお勤め頂きました樋口先生が前年度を以っておやめになりましたので、先生に想い出のあれこれをお願いしました。本当によい記念が出来、心より感謝申し上げます。何時までもお元気で三小を見守っていただきますようお願い申し上げます。有難うございました。新しいアイデアやヒントなどありましたら会員の皆様どしどしお寄せ下さい。後評もお待ちしております。(部長)